

斯くて、吾が国全体の労働運動が、重要なる一階梯に進入せると共に、吾が東京市従業員組合も、其の重大なる發展階段に一步と踏み入れたものと云はなければならぬ。是れ、吾等が茲に特に宣言を發して、全労働運動の當面せる問題、及び是れに對する、吾が組合の任務に就而、吾等の立場を公けにする所以である。

第一。吾が組合の當面せる重要なる内部問題の二は、教育運動をとり一増盛にすることである。吾が国の労働運動は、前述の如く非常なる遠き度まで進歩しつつある。従つて、昨日の現實は己に今日の現實ではない。此の進歩に添うて、其の陣列に伍して進む爲には、吾等は組合内の教育運動によつて、絶えず組合自身と向上せしめなければならぬ。

第二。労働運動の急速なる發展に俟つて、資本金階級は、亦

其れと同比例して其の力を増大せんと試みて居る。其の爲には、資本家は、あらゆる方法に於て其の力を揮舞し、統制しようとする。斯の如き社会の現状に對面する労働階級は、全体として組織され、統制され、此れがなければならぬ。是れ、吾等は過去に於て高唱せる全國組合我職会の必要なる所以である。吾等は此の問題が、一は一刻も遅延に於ておぼらざる急問題たるを痛感するものである。故に吾等は如何なる困難を拂つても、全國総聯合の達成に邁進するであらう。

第三。現在の資本家の経済支配の下に於ては、労働階級は、生産者としての権取以外に、消費者としての権取を以ていふべきである。生産者ととしての権取に對抗する労働組合以外に、労働階級は、消費者としての権取に對抗する、有力なる武者たる消費者組合を組織するべし。其の意味に於て、我が組合は、本大会の具條第三決議に基き、消費者組合運動に向つて全力を傾注するであらう。